

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC230	科目名	こころとからだのしくみⅡc	担当者名	松橋 ひとみ(実務家教員)
授業の概要	人間が生きていくために必要となる基本的行動と、行動に関わる身体機能と脳の関係についての知識を身につける。生活支援の場面に応じた、こころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する。				
科目の到達目標	①移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持、排泄、休息・睡眠の6項目に関連したこころとからだのしくみを理解できる。 ②人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみを理解できる。 ②対象者の自立支援という観点から、こころのしくみと関連し考えることができる。 ③チームケアにおける介護福祉士の役割を理解し、医療職と連携をもつことの必要性を理解できる。				
DPの観点	⑥専門知識・技能 ⑦思考力 ⑩問題解決力				
授業時間外学修（予習・復習）	こころのしくみを理解し、介護を受ける人にこころとからだの両面から生活場面での変化をアセスメントできる。利用者の支援に必要とする介護方法について、根拠を明確にできる。人体の構造と機能の点から支援の必要性を導き出し、介護について自己の考えを述べることができる。予習・復習を1時間程度行うこと。				
フィードバックの方法	授業担当者よりレポートの結果が返却される。				
単位認定の要件	15回の授業後、レポート課題を提示し内容を評価する。 授業内活動時には、活動に関わるレポート提出を求める。レポートの内容により学習成果を判断する。 受講態度、提出物、最終レポートから総合的に判断する。				
評価の方法・割合（％）	最終レポート 60％、授業内試験 20％、授業内提出物 10％、授業内活動 10％				
履修上の注意事項	適宜、演習を実施するが、演習に臨む態度も授業内活動として評価対象とする。 30分未満の遅刻・早退が3回みとめられた場合、1回の欠席とし換算する。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			健康とは何か。脳のしくみ身体各器官系について理解する。	⑥⑦⑩	振り返りシート
2			移動に関するこころとからだのしくみを理解する。	⑥⑦⑩	振り返りシート
3			心身の機能低下・障害が及ぼす移動への影響。医療との連携	⑥⑦⑩	振り返りシート
4			身じたくに関連したこころとからだのしくみを理解する。	⑥⑦⑩	振り返りシート
5			心身の機能低下・障害が及ぼす身じたくへの影響。医療との連携。	⑥⑦⑩	振り返りシート
6			食事に関連したこころとからだのしくみを理解する。	⑥⑦⑩	振り返りシート
7			心身の機能低下・障害が及ぼす食事への影響。医療との連携。	⑥⑦⑩	振り返りシート
8			入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみを理解する。	⑥⑦⑩	振り返りシート
9			心身の機能低下・障害が及ぼす入浴・清潔保持への影響。医療との連携。	⑥⑦⑩	振り返りシート
10			排泄に関連したこころとからだのしくみを理解する。	⑥⑦⑩	振り返りシート
11			心身の機能低下・障害が及ぼす移動への影響。医療との連携。	⑥⑦⑩	振り返りシート
12			食事、排泄について、こころとからだの関連性を理解する。	⑥⑦⑩	振り返りシート
13			休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみを理解する。	⑥⑦⑩	振り返りシート
14			心身の機能低下・障害が及ぼす休息・睡眠への影響。医療との連携。	⑥⑦⑩	振り返りシート
15			「死」に対するこころの理解。こころとからだの変化。医療との連携。	⑥⑦⑩	振り返りシート
期末試験			最終レポート提出		

使用テキスト	新・介護福祉士講座11「こころとからだのしくみ」(中央法規出版) 荘村明彦
参考文献 参考URL	「よくわかる生理学の基本としくみ」(秀和システム) 當瀬規嗣
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--